

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

日立マイクロコンピュータ技術情報

〒100-0004

東京都千代田区大手町2丁目6番2号(日本ビル)

TEL (03)5201-5191 (ダイヤルイン)

株式会社 日立製作所 半導体グループ

題 目	SH3, SH3-DSPハードウェアマニュアル訂正 (電源立上げシーケンス)		発行番号	TN-SH7-348B		
			分類	1. 仕様変更 ②. ドキュメント訂正追加等 3. 使用上の注意事項		
適 用 製 品	HD6417707, HD6417709, HD6417709A, HD6417709S, HD6417729, HD6417729R, HD6417727	対象ロット等	関連資料	SH7707ハードウェアマニュアル第1版 SH7709ハードウェアマニュアル第4版 SH7709Aハードウェアマニュアル第4版 SH7709Sハードウェアマニュアル第1版 SH7729ハードウェアマニュアル第3版 SH7729Rハードウェアマニュアル第1版 SH7727ハードウェアマニュアル第1版	Rev.	有効期限
		全ロット				永年

SH7707, SH7709, SH7709A, SH7709S, SH7729, SH7729R, SH7727ハードウェアマニュアルにおいて下記の訂正がありますので、ご理解、ご了承頂きたくお願いいたします。

この技術情報は、既発行の技術情報「TN-SH7-348A」において、下記のように下線部分を訂正したものです。

1. SH7709A, SH7709S, SH7729, SH7729R, SH7727

「電気的特性」「絶対最大定格」の【使用上の注意】を下記のように訂正いたします。

1-1. 端子の不定状態についての記述

【訂正前】

(2)すべての電源に電圧が印可され、RESETP端子にLowレベルが入力されるまでの間、内部回路は不確定なので、各端子の状態も不定となります。この不定状態によってシステムが誤動作を起こさないようにシステム設計を行ってください。

【訂正後】

(2)すべての電源に電圧が印可され、CA端子にHighレベル、RESETP端子にLowレベルが入力されて、CK10クロックが最大4クロック動作するまでの間、内部回路は不確定なので、各端子の状態も不定となります。この不定状態によってシステムが誤動作を起こさないようにシステム設計を行ってください。

なお、CA端子がLowレベルのときにはRESETP端子のLowレベル入力を受け付けません。

1-2. 電源投入時、切断時の、3.3V系電源と1.8/1.9V系電源の時間間隔についての記述

【訂正前】

100 μ S以内

【訂正後】

1 mS以内

2 . SH7707

「電気的特性」「絶対最大定格」の【使用上の注意】に以下の文を追加いたします。

すべての電源に電圧が印可され、RESET端子にLowレベルが入力されてCK10クロックが最大4クロック動作するまでの間、内部回路は不確定なので、各端子の状態も不定となります。この不定状態によってシステムが誤動作を起こさないようにシステム設計を行ってください。

3 . SH7709

「電気的特性」「絶対最大定格」の【使用上の注意】に以下の文を追加いたします。

すべての電源に電圧が印可され、CA端子にHighレベル、RESETP端子にLowレベルが入力されて、CK10クロックが最大4クロック動作するまでの間、内部回路は不確定なので、各端子の状態も不定となります。この不定状態によってシステムが誤動作を起こさないようにシステム設計を行ってください。
なお、CA端子がLowレベルのときにはRESETP端子のLowレベル入力を受け付けません。

- 以上 -